

A 案



鬼瓦を配し、『合』の字をモチーフに道場の記憶を後世に伝えるデザインです。
 鬼瓦を切妻屋根中央に配置し道場を表します。下部に鍛錬を重ね『合気心』へ至る道程を表す掘り込み、その先に『無』の空間を暗示させています。
 ここちよく、しなやかさのある公園への願い、シンボル性を内在した園名碑です。
 「合気は争うことを不致」平和な中で知らずに子どもが覗き込み、手をのびし達人に挨拶し、あやかることも意図しています。

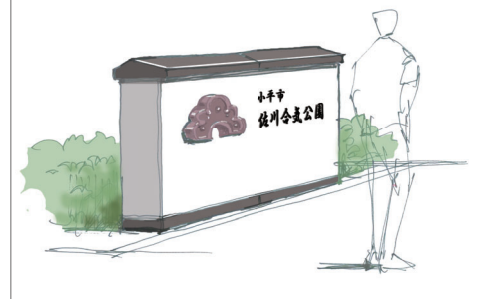
寸法：1350W×300D×1350H

材質：人造石又は御影石

園名：ステンレス切り文字



B 案



白と黒の対比によりシンプルで簡潔なデザインとしました。白と黒は合気道の道着の色を連想させます。

寸法：1800W×300D×1200H

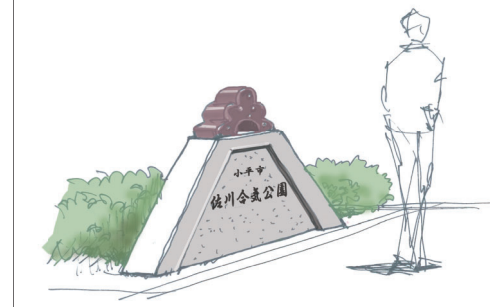
笠木、巾木：黒御影石（本磨き）

園名：ステンレス切り文字

壁部分：現場打ちコンクリートの上人造石モルタル塗り

（鬼瓦は半部程度埋込）

C 案



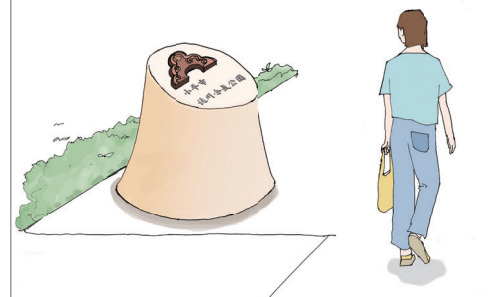
切妻屋根に鬼瓦が設置されている様子をイメージしたデザインです。

寸法：1600W×250D×1150H

本体：白御影石

園名：掘り込み文字に墨入れ

D 案



末広りのシルエットは、合気道で構える姿勢の時の足の動きをイメージし、円形に切り取った面は、佐川幸義氏が合気道の作用として説いている「円融無碍」の言葉をモチーフとしました。

寸法：850W×1000D×900H

本体：高度造形モルタル製（鬼瓦は半分程度埋込）

園名：ステンレスの切り文字に塗装